

広島市動物管理センター(中区鞆土見町)は2009年度、犬147匹、猫1403匹を殺処分した。減少傾向にあるものの、収容数の8割を超える水準だ。さらに減らすためには、自治体の積極的な取り組みやボランティア団体との連携、市民のモラル向上が課題となっている。(二井理江)

処分される命 対策本腰を

減少にも現場は「限界」市民のモラル課題

は、06年度に全県で1万3117匹(うち広島市1700匹)だった殺処分数を17年度に半減する目標を立てた。広島、福山、呉市を除く熊本市の事例は参考にない。市はボランティアや獣医師会、動物取り扱い業者とともに愛護推進協議会を結成。収容した犬猫は基本的に全てを譲渡対象として情報公開し、協議会は譲渡会も開いている。

「かわいそうだから」と野良猫に餌をやる行為は、望まれない命の誕生につながる。野良猫の不妊去勢の啓発にも取り組む。

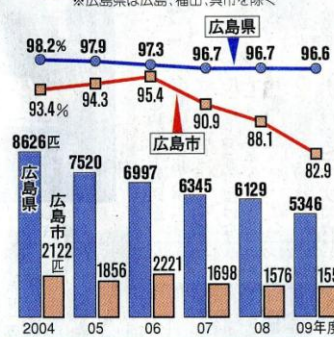
体を洗う場所はない。元の飼い主が新しい飼い主が現れない限り、じっと死を待つのが現状だ。これに対し、新しい飼い主を探す活動をしているボランティア団体「パウスハート」のメンバーは4日、センターの移転を7808人分の署名を提出した。署名の提出は昨夏から3回目で、計1

「情報発信を」 「まだまだ助け出したが、市民レベルの活動には限界がある。センター

「がもっと主体的に『生かす』取り組みをしてほしい」と団体の代表を務める主婦(47)。収容した犬や猫の情報をホームページ(H.P)でより積極的

広島市 犬・猫2221匹(06年度)→1550匹(09年度)

犬猫の殺処分数と処分率の推移 ※広島県は広島、福山、呉市を除く



日の当たらない広島市動物管理センターの保護室

熊本市の好例 全国では年27万匹の犬猫が殺処分されている。家族の一員であるペットの「命の重さ」と向き合い、飼い始めたら最後までみとめる覚悟が求められる。